

☆「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山頂にある、ビジターセンター窓口までお越しください。

冬のイベント

「山の名前をあてよう」

昨年好評だったお昼の地図読みレクチャーを今年もやります!自然解説員が初心者向けに、山の地図の読み方とコンパスの使い方をお教えます。
実施日:平成21年1月~2月の平日、数日間
時間:13:00~13:50
実施場所:高尾山頂ビジターセンター周辺
定員:12人(当日窓口にて先着順) 参加費:無料
持ち物:暖かい格好、細かい作業のできる手袋(地図、コンパスの無料貸出あり)
※実施日の詳細は高尾ビジターセンターのホームページまたは高尾ビジターセンターまでお問い合わせください。またご参加の方は当日朝9時以降に高尾ビジターセンターまで実施の有無をご確認下さい。

「高尾山麓ゆっくりドキドキ巡り」

高尾駅周辺を歴史を感じながら、ゆっくり歩きながら巡ります。

実施日時:平成21年3月29日(日)
集合:JR・京王線高尾駅南口 9:30~15:10頃
対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)
応募〆切:平成21年3月12日(木)
参加費:高校生まで200円、他一般500円

◆イベント詳細・申込み方法◆
ビジターセンターのホームページからご覧いただけます。
<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

イベント報告

自然教室 2008年12月6日(土)
『楽しく学ぼう やまの応急手当』

今回ビジターセンターで初めて実施したイベントです。止血方法、三角巾、副木の使い方や包帯の巻き方を、体験を通して学びました。ストックキングをネット包帯の代用として使うやり方も実践しました。自分たちで身体を動かしながらの講義が好評でした。

今回ふれる事が出来なかった「AEDの使い方」や「事前の予防策」なども次にやって欲しいとの感想もいただきました。内容と質をさらに充実させ、今後も実施していきたいと思ひます。



副木を使って首の固定方法を実習

解説員のひとごと

窓口への質問

窓口では、お客様から様々なことを聞かれます。初めて高尾山に来る方も多いため、中にはちょっと面白い質問もあります。よくあるのが「下に降りるには今来た道しかないんですか?」残念ながら解説員は古い師ではないので、お客様がどの道で来られたか分からないのです。

手で四角を作って「こういうのは?」という人も。大抵、地図を探しておられるようです。

時には禅問答のように難解な質問も。「1号路で下りるには、1号路で下りるしかないんですか?」おそらく1号路に合流する道があることをお伝えすればよかったのですが、とっさに理解できず、固まってしまいました。

ちなみに、『ミシュランのソバ屋はどこか?』という質問もたまにあります。

ミシュランに三ツ星認定されたのは「高尾山」ですよ。



高尾ビジターセンターのご案内

冬の見どころ遊びどころ満載 無料プログラム
高尾の自然について「スライドショー」(約15分)
毎日 11:00~ 14:30~

「高尾山の四季」「高尾山から見える山々」「高尾の冬」など自動スライドのラインナップも充実!
解説員と一緒に歩く「ガイドウォーク」(約50分)
毎日 13:00~

☆団体でのプログラム利用は事前にご相談下さい。
研究路クイズの答え:③かげのぶやまです。地名は難しいですね。次回の地名クイズもお楽しみに!

次号予告

季刊「のぶすま」2009年春号Vol. 18
2009年4月1日発行予定

季節のトピックスー表紙ー
研究路自然情報マップ
研究路クイズ9
高尾山今昔その9

編集後記

・一番好きな季節到来☆山はきれいに見え、人も少ない☆寒いのはカイロ、パジャマ、股引でのりきります! B・A
・野鳥観察のベストシーズン到来。去年は、愛想の良いルリビタキが来てくれました。今年も会えるかな? K・H

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」
2009年冬号Vo. 17 2009年1月4日発行

発行者
東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
電話: 042-664-7872 FAX: 042-662-9926
ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

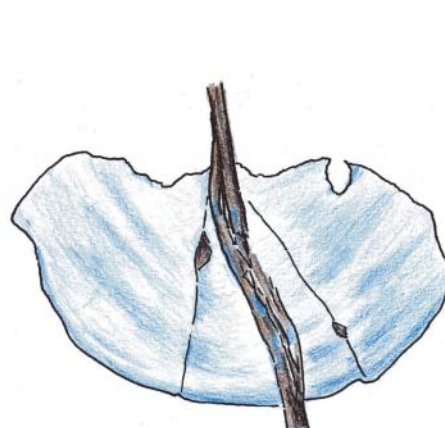
購読の方法
80円切手と、封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

シモバシラ

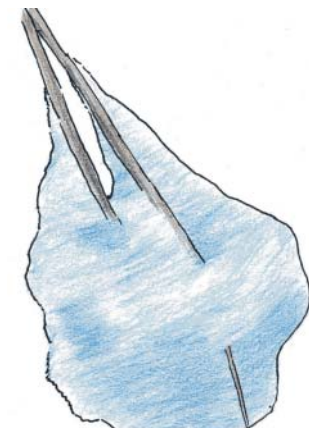
氷の花のミュージアム

高尾山の冬の風物詩、シモバシラ。地面にできる霜の柱もシモバシラですが、これは、シモバシラという植物の茎にできる氷の結晶のこと。0度以下の時間が続くと、茎からしみ出した水が凍ってできます。一つとして同じ形はなく、その姿はまるでガラスの芸術品のようです。

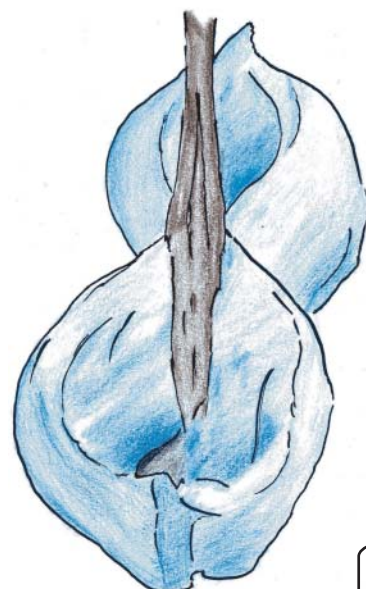
いろいろな形のシモバシラ



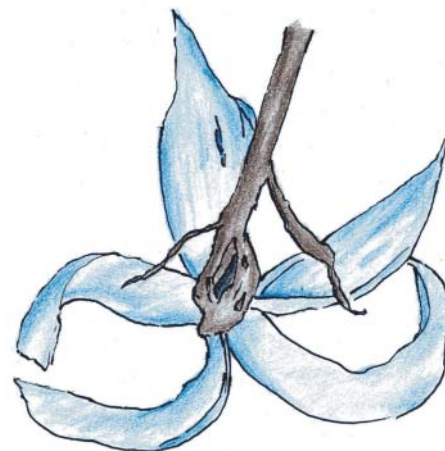
せんす 扇子状に広がったもの



ふく わたがしのように膨らんだもの



2つの輪ができたもの



ヒトデのような形のもの

シモバシラに出会えるのは、冷え込んだ12月中旬から1月頃までです。

担当: はやし

ちょこっと 登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
1月 1日	6:50	16:39	3.4℃
1月 15日	6:50	16:51	
2月 1日	6:41	17:08	3.9℃
2月 15日	6:28	17:23	
3月 1日	6:12	17:36	5.3℃
3月 15日	5:52	17:48	

登山道は凍結の恐れがありますので、足もとに十分注意して下さい。特に4・6号路と、高尾山頂~小仏城山へ向かう道は凍結しやすくなっています。ケーブルカーの運行時刻が短縮されます。日帰りでもライトを携帯すると、いざという時に役立ちます。気温が低いので、防寒着をお忘れなく。

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。高尾山頂での気温はこの平均気温より3℃ほど低くなります。

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター

2009年冬号 Vol. 17

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

高尾山 其の8 4コマ漫画

解説員アラツに挑戦！

作：はせがわ 画：ばん



※氷柱のつくシモバシラという植物（表紙参照）



写真に
おかなくて
うらやま



あら？
何か異うわね。



ベニちゃん
それお花摘み※
のあと花摘み※

※山で用を足すことの婉曲的な表現

1・2・3月の ビジターセンター発 山頂周辺自然情報

寒い冬がやってきましたが、みなさんいかがお過ごしですか？葉っぱが落ち、遠くが見やすくなりましたね。今回は見どころいっぱい
の山頂です。山頂に着いたら、あちこち探検してみませんか？



戦前、木はほとんどなかった！

ビジターセンター
地階展示室にて、戦
前の高尾山の絵葉書
の展示があります。
山頂は木があまり
育っておらず、現在
よりもはるか遠くが
見えたことがわかり
ます。



絵葉書「多摩御陵高尾山」より

パノラマ展望広場

八王子市営レストハウ
ス跡地を2006年に改修、
広場ができました。
ここから見える山の解
説板がありますので、見
える山々をチェックして
みては？



中西悟堂の歌碑

日本野鳥の会創始者、
中西悟堂氏は1968年に薬
王院に泊り、翌日の高尾
山頂で『富士までも およ
ぶ雲海ひらけつゝ 大見
晴らしの 朝鳥のこゑ』と
詠みました。



変わる高尾山の標高

なぜか盛り土の上に建つ三角点。
昭和の始めは600.26m、今では599.15m。
低くなったのは私たちが歩いて周りの
土がとれたのか、それとも私たちが踏み
歩いたから？



さあ、頼りはあなたの5感



どこまで見える？

高尾山頂はその昔、『十三州見
晴台』と言われ、常陸、武蔵、上野、
下野、下総、上総、甲斐、伊豆、駿河、
越後、信濃、相模、安房の13の旧国
が見られるといわれていました。
今日はどこまで見えるかな？



山頂にある「十三州見晴台」石碑



25年前は裸の地面

以前は、5号路から山頂へ直登できまし
たが、踏圧の影響で草や木がなくなったた
め、柵や「植生保護中」看板をつけ、入れ
なくしています。
足元にある小さな命のためにも引き続き
ご協力ください。



担当：あらつ

研究路クイズ Q8 景信山編

高尾山の地名読めるかな？「景信山」

さて今回のクイズは前号にひきつづき、高尾山周辺にある読みにくい地名の問題です。
高尾山から陣場山方面へ尾根道を歩いて2時間。標高727mの景信山に到着します。
さてこの「景信山」なんと読むのでしょうか？

- ①けいしんさん
- ②けいしんやま
- ③かげのぶやま



答えはウラページのビジターセンターの案内の下にあるよ！

担当：あなだ

高尾山今昔 その8

ジンバサン～「場」と「馬」の物語～

高尾山から北西方向に「ジンバサン」があります。登ったことのある方も、いらっしゃるかもしれませんが、「ジンバサン」を漢字で表記する場合「陣場山」「陣馬山」の2通りを見かけます。昭和30年以前は、「場」が一般的だったようですが、その後、観光的な要素も入り、一部で「馬」も使われるようになり、現在に至っているようです。

ちなみに東京都では、昭和25年に高尾山周辺の都県境を『都立高尾陣場自然公園』に指定しました。その経緯から基本的に山の名前については「陣場山」を使用していますが、バス停などの観光的な名称については「陣馬山」も併用しています。

それでは一体、どちらが正しいのか？この事については、長年、結論は持ち越されてきたようです。でも「場」でも「馬」でもみなさんお好きな方で良いのではないのでしょうか。

【参考文献：東京都の自然別冊第5号 1977年】



担当：はせがわ